



熱中症（疑いを含む）による救急搬送人員数が過去最多を更新！

～熱中症予防を徹底しましょう！～

夏季（6月から9月まで）における当庁管内の熱中症による救急搬送人員数は、本年8月末時点で8,341人（速報値）となり、夏季として最多だった昨年の7,996人を超え、2年連続で過去最多を更新しました。

気象庁は9月以降も気温がかなり高くなる見込みとしており、今後も厳しい暑さが続くことが予想されます。引き続き、ご自身が熱中症による健康被害に遭わないよう、屋内ではエアコンを使用し、屋外では帽子や日傘を使い直射日光を避けるとともに、のどが渇く前にこまめに水分補給をするなどして、熱中症対策をしましょう。

一方で、昨年の9月に熱中症により救急搬送された人のうち約3割にあたる246人が中等症以上と診断されています。意識がない、うまく動けないなど緊急性があると思う場合は、ためらうことなく119番通報してください。また、救急車を呼ぶべきか迷った時はインターネットで病気やけがの緊急性を判断できる「東京版救急受診ガイド」をご活用いただくか、「#7119東京消防庁救急相談センター」にご相談ください。

【参考資料】

- 1 熱中症に係る資料
別添えのとおりに
- 2 熱中症に注意(東京消防庁ホームページ)
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/nichijo/heat/index.html>
- 3 ためらわずに救急車を呼ぶべき症状(総務省消防庁引用)
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/content/000026866.pdf>
- 4 「東京版救急受診ガイド」及び「#7119東京消防庁救急相談センター」
(東京消防庁ホームページ)
https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kyuu_adv/soudan-center.html

問合せ先

東京消防庁 (代) 電話 3212-2111
防災安全課生活安全係 内線 4207
広報課報道係 内線 2345～2349

別添え

令和7年中の熱中症に係る資料(令和7年は速報値)

1 年別の救急搬送人員

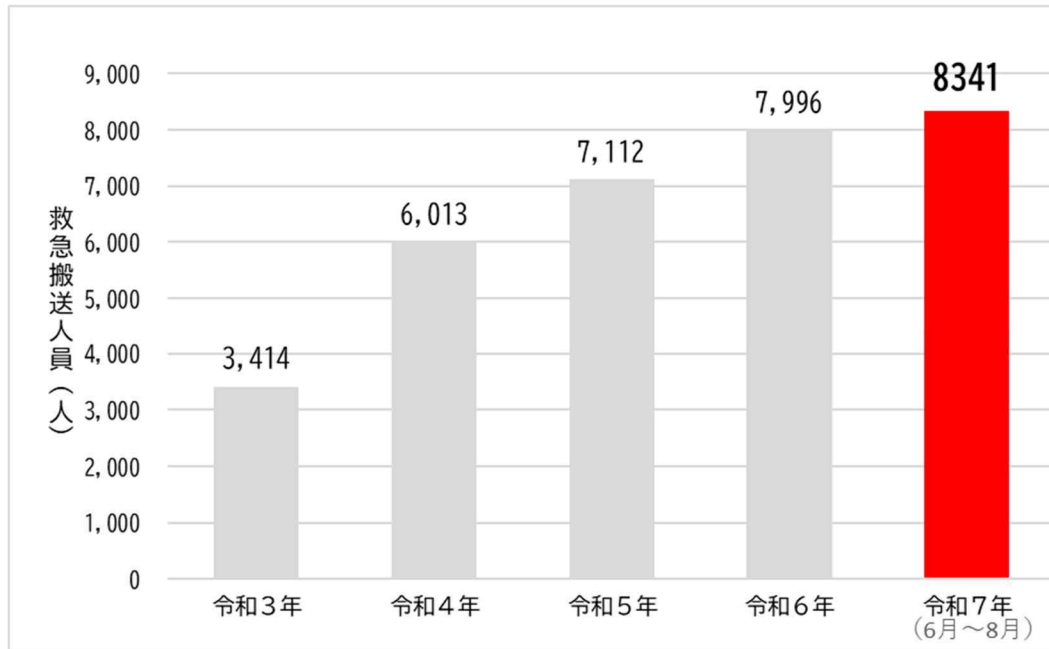


図1 過去5年間の熱中症による年別救急搬送人員(各年6月～9月)

2 月別の救急搬送人員

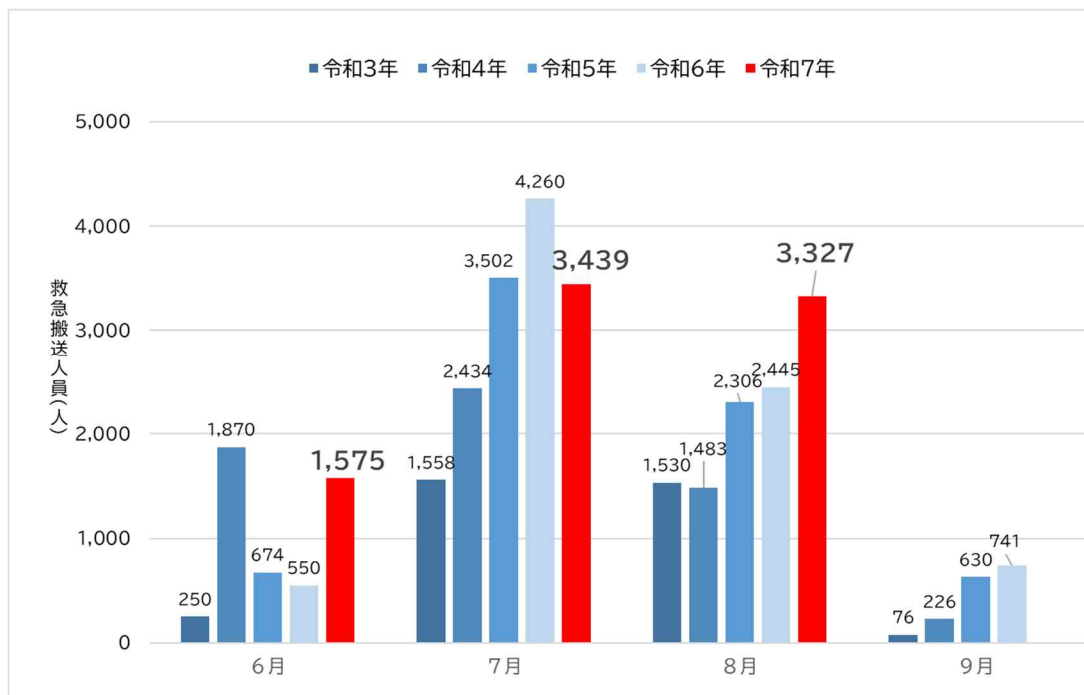
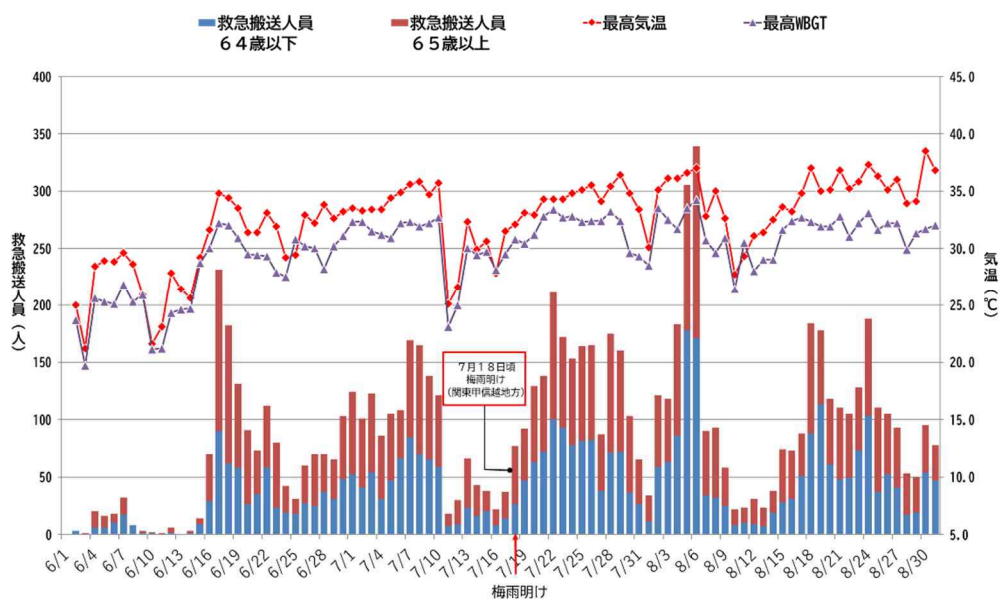
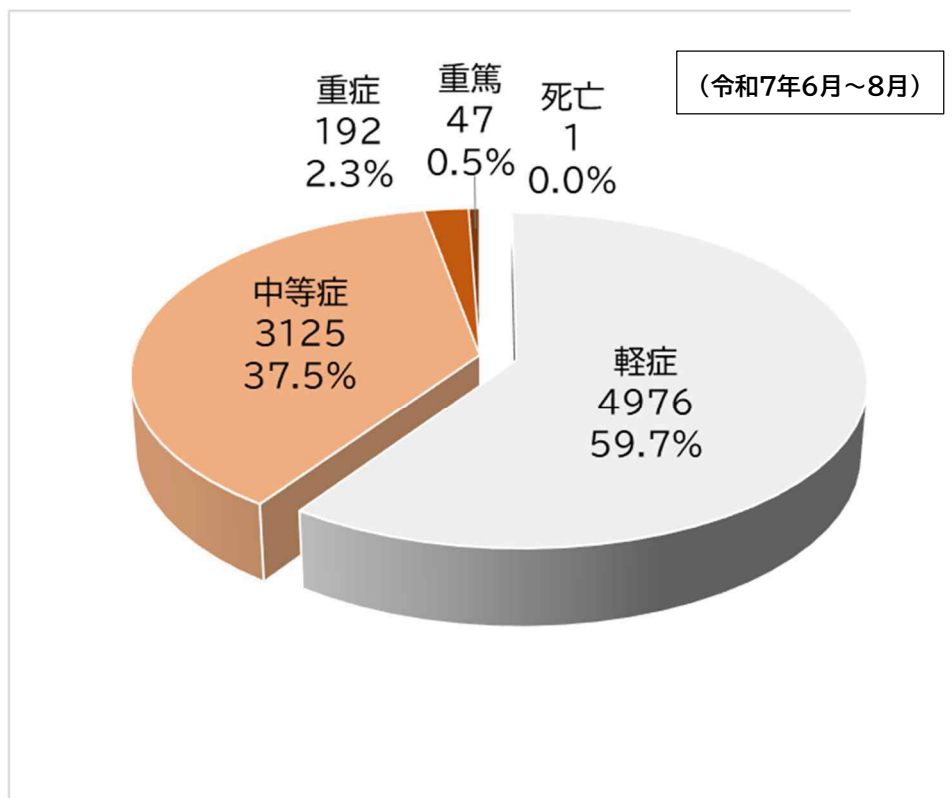


図2 過去5年間の熱中症による月別救急搬送人員

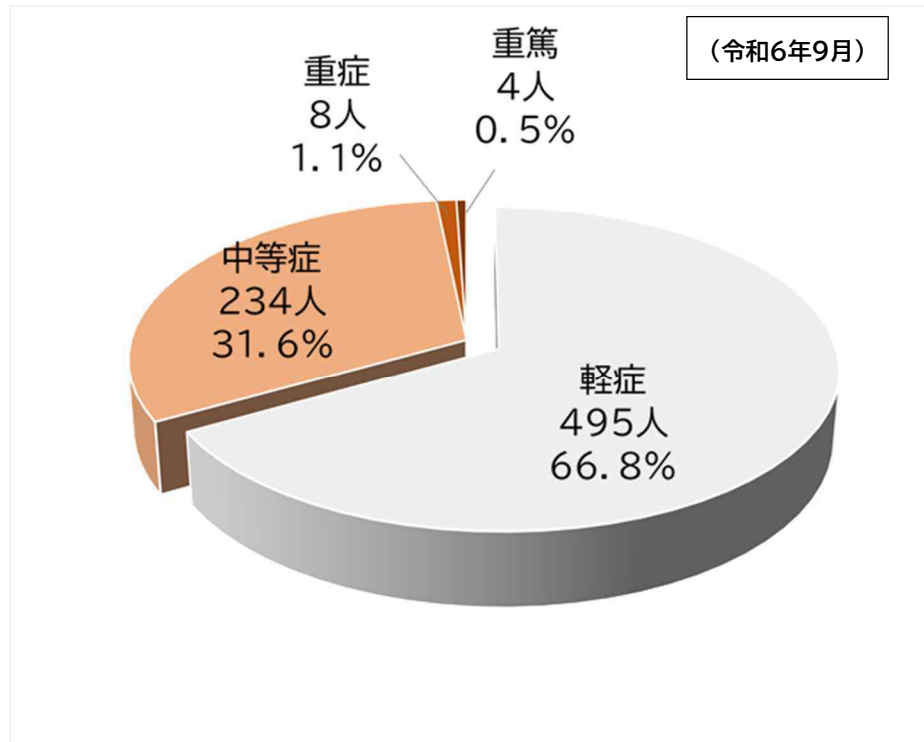
3 救急搬送人員と気温・WBGT の状況(令和 7 年 6 月～8 月)



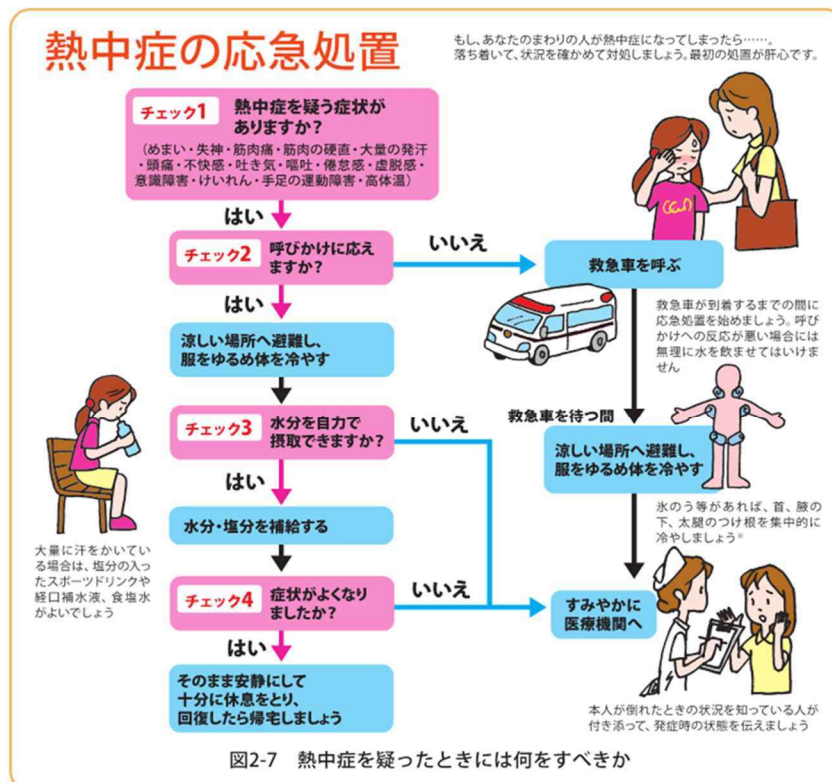
4 令和7年6月から8月の初診時程度別の救急搬送人員



5 令和6年9月の初診時程度別の救急搬送人員



6 熱中症を疑う症状と応急手当



*スポーツや激しい作業・労働等によって起きる労作性熱中症の場合は、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。

出典：熱中症 環境保健マニュアル 2022 II-3(環境省)